

# あぐい 広報

2007 JANUARY 1月1日号 毎月1日・15日発行



“琴の音で迎春”

英比小学校「お琴クラブ」6年生の皆さん



### 主な内容

新年のごあいさつ.....	2 P	まちの話題.....	8 P
地域包括支援センター開設.....	4 P	あぐいぶらり旅(伝説の地を歩く).....	13 P
新成人に聞きました.....	6 P	税金の話(税源移譲).....	14 P

# 新年のごあいさつ

# 誠実一路

町長 啓二



## 阿久比町長 竹内 啓二

新年明けましておめでとござい  
ます。

輝かしい新春を迎えられたこと  
と思います。皆さまのご清祥をお慶び  
申し上げますと共に、ますますのご多  
幸をお祈り申し上げます。

私は昨年十一月二十六日の町長選  
挙におきまして、町民の皆さまの温  
かいご支持により当選させていただきました。  
町長としての二期目を務めさせ  
ていただくこととなりました。町政  
を預かることの責任の重さと、使命  
の重大さを痛感し、身の引き締まる  
思いで新年を迎えました。町民の皆  
さまの意見を誠実に受け止め、町民  
の福祉の向上と、阿久比町の発展の  
ために、全力を挙げて職務に取り組  
んでまいります。

少子高齢化が進み、家族の価値観  
や地域の絆など社会事情の変化が、  
新たな問題を生み、住民や社会が行  
政に求める内容も多様になっていま  
す。そこで私は次のような町づくり  
を進めていきたいと思えます。

一つ目は都市型生活と自然が共生  
するバランスのある町づくりです。  
緑と阿久比川水系の水と土を守り、  
自然環境が良好な中で、社会基盤整  
備の充実した利便性のある都市型生  
活のできる町づくりに努めます。  
二つ目は災害に強い安全な町づく  
りです。

町民の生命と財産を守ることを、  
行政の第一の使命と考え、防災と防  
犯対策の充実に努めます。  
東海、東南海、南海地震に備え、

早急に学校の耐震化を進め、災害時  
の飲料水確保に向けての整備など、  
地震対策に取り組み、地域の防犯活  
動や防犯パトロール体制も強化しま  
す。

三つ目は安心して暮らせる安らぎ  
のある福祉の町づくりです。  
子育て支援では、子育て支援セン  
ターの設置など子育ての環境充実に  
努め、教育では幼・保・小・中一貫  
教育プロジェクトを推進し、学校、  
家庭、地域全体で子どもを育ててい  
こうと考えています。

高齢者支援では、一月から開設す  
る地域包括支援センターを活用し、  
健康で自立して暮らせる高齢者のた  
めの「明るく活力ある高齢者社会」  
を目指します。

四つ目は社会基盤の充実した利便  
性のよい町づくりです。  
利便性のよい町づくりには、生活  
道路と幹線道路の整備促進が欠かせ  
ません。安全のためにも歩道設置を  
進め、交差点改良などにも取り組ま  
す。

五つ目は健全財政に努め、町民と  
の協働による町づくりです。  
行政の無駄を省き、行政コストを  
抑えて、第三次行政改革を推進しま  
す。安定した自主財源の確保に向け  
て、企業誘致などを進めていきます。

パブリックコメント制度を導入し  
町民の皆さんの意見を参考に、行政  
の意思決定に反映させていこう  
と思えます。自主防犯や自主防災活

動では、自発的に行動する方が増え  
てきました。このことは自分の町は  
自分たちの手によって作っていくこ  
ととする意識の表れです。

町民の皆さんに町づくりに参加し  
ていただき、皆さんと一緒に協働  
して町づくりを行っていきたく  
と考えます。

阿久比町も昨年の十一月一日に人  
口が二万五千人となりました。日々  
の生活において、町民一人ひとりが  
相手のことを思いやり、人と人が支  
え合い助けあって、共に生きていけ  
る安らぎのある町にしていきたい  
と思えます。

「誠実一路」。この「ことば」が今  
の私の気持ちです。町政の舵取りを  
任され、二度目の大海原へ出航の時  
初心を忘れることなく職務に励んで  
いきます。一路目指すべきもの、そ  
れは「町民の幸せ」です。まじめで  
真心がこもった気持ち、つまり「誠  
実」な舵取りを行えば必ずや目指す  
べきものに到達することと思えます。  
阿久比町は歴史・文化・自然に加  
え、都市近郊の利便性に優れた魅力  
的な町です。これらを生かしながら、  
夢と希望にあふれたさわやかな住み  
よい町づくりを目指し、「一路」邁進  
してまいります。

終わりに、皆さまのご健勝とご繁  
栄を心からお祈りいたしました。新年  
のごあいさつといたします。本年も  
どうぞよろしくお願い申し上げます。



# 新年のごあいさつ

# 有備無憂



## 阿比町議会議長 井本三紀夫

萬家太平の春

明けましておめでとございます。輝かしい新春を迎えるにあたり、町民皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

日ごろより町政にお寄せいただきましたご指導とご協力で深く感謝を申し上げます。

振り返って、全国各地では集中豪雨、台風、竜巻といった災害に相次いで見舞われ、役場玄関に義捐金箱が跡絶えることがないほどでした。幸いにも知多半島五市五町での、農業共済の被害総額は水稲・果樹を合わせて約二十七万円と過去最低を記録、平穏な一年を素直に感謝し、

喜びたいと思います。ただ、十一月に入って高齢者二人

二件の交通事故が発生したことは誠に残念の極みであり、交通安全の取り組みに更なる意を注ぐ必要を痛感いたしました。

町内の犯罪発生件数は活発な地域の自主パトロールのご協力で減少傾向にはありますがまだまだ安心できません。

全員参加で「安全・安心な町」づくりを進めましょう。

新たに迎えたこの一年、いまだ行政の課題は多く、その解決に獅子奮迅の努力が求められています。

課題の一つ目は議会改革。

昨年、地方分権に備え、議会改革特別委員会から示された骨格の実践に入り、議長公用車の廃止、議員定数の削減、一般質問の一问一答方式

化による議論の活性化などを進めてきました。経費削減という意味では自ずと限界があり、財政的に多くの寄与は望めません。

むしろ、諫争に値する政策立案、行政効果の評価、検証といった議会議員の果たすべき役割についての意識改革に努めてまいります。

課題の二つ目は防災。

従前より宿命的な課題として取り組んできた大雨、台風への備えに加え、地震防災の取り組みも急がなければなりません。

いつ起きてもおかしくない東海地震、今後三十年以内に発生する確率が六十パーセント程度といわれる東南海、南海地震など「巨大地震」に対する備えは一朝一夕でなし得るものではありませんが、起きないことを祈りつつ、着々と対策してまいります。

その意から今年の年頭の言葉を「有備無憂」としました。

課題の三つ目は教育。

昨年から取り組んできた幼・保・小・中一貫教育プログラムの実践に入り、十一月には第二次の報告会が開催され、各地から注目を集めていますが、即、効果が具現化するものでもありません。

学校、家庭、地域、社会、行政が連携してより高い成果を求めてまいります。

児童、生徒のいじめによる自殺や児童虐待のニュースが連日のように

報道されています。

幸いにも本町ではかかる事件の報告には接していませんが、無いという観点ではなく、ある、起こるという視点で総点検し、気配の段階での対応措置こそ重要です。

課題の四つ目は格差と福祉。

国の改革や規制緩和が競争を加速し、不況から好況へと転換はしたものの格差という社会現象をもたらしました。

格差を負の一面として受け止め、是正補完する行政によって福祉サービスが後退しないよう努めます。

課題の五つ目は財政基盤。

国の財政も厳しく、多くを国に求める道は細くなりつつあります。自主的に財源確保の道を切り拓いて行く覚悟が必要です。

幸い愛知県域は物づくりの基地として状況を呈しています。本町においても空港開港以来、町内企業はデーンソーをはじめ鶴弥、河村工機製作所などが増設、増築が進められており、物流基地、住宅の進出も見られ上昇傾向にあります。

さらに線（道路）の整備、面（土地基盤）の整備を進めることにより自立した街づくりを目指します。

残された任期はわずかとありますが後顧の憂いなきよう、二期目の竹内町政と共に全身全霊で課題に取り組んでまいりますことをお約束して、年頭のごあいさつといたします。

# 介護予防 高齢者の窓口 地域包括支援センター開設

町では一月から地域包括支援センター（役場の南東角）を開設します。

町の介護予防を進めるための拠点となり、高齢者のための総合相談窓口としての役割を担います。

高齢者が住み慣れた地域で、生き生きと生活していくためには、できる限り要介護状態にならないように予防対策を取らなければなりません。たとえ要介護状態になったとしても、状態に応じた介護サービスや医療サービスなど、変化に応じてサービスを提供する必要があります。

地域包括支援センターでは、軽度の方を対象としたケアプランづくりのほか、一般の高齢者の方に対して、心身の状態変化に応じて保健・福祉・医療のサービスが適切に、切れ目なく提供できるように必要な援助や支援を行います。

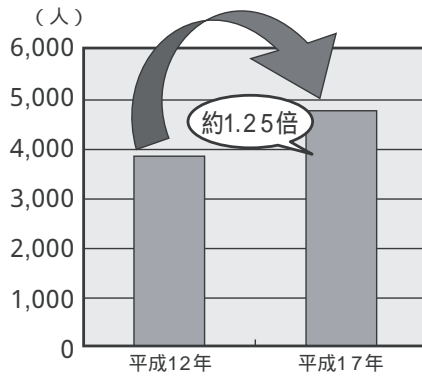
## 現状

介護保険が平成十二年に始まってから介護が必要な方は年々増え、それに伴い介護給付費も増加しています。

阿久比町では平成十七年に六十五歳以上の高齢者人口が約四千五百人で、介護保険が始まってから五年間で約一・二五倍増となっています。

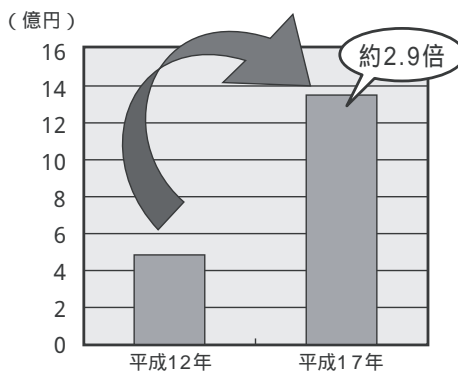
それに伴い、一人暮らしの高齢者も増えています。

高齢者人口の推移



介護が必要な方の数も約一・五倍となり、利用する介護保険サービスの総額も約二・九倍と増えています。

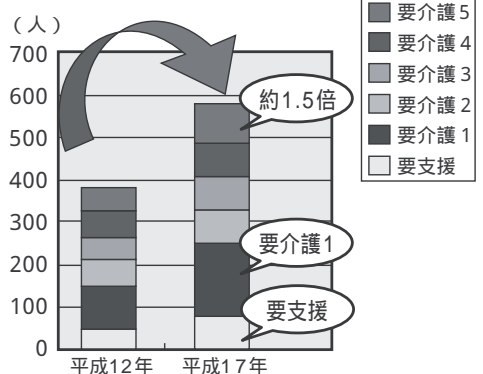
介護給付費の推移



要介護認定の内訳をみると、四割近くが、要支援、要介護1で、軽度だけでも介護が必要な方が増えています。

介護が必要になるのは、脳梗塞、心筋梗塞などの病気もありますが、外に出る機会が減って体を動かすことが少なくなること、今までのように食事が食べられなくなること

介護認定者数の推移



因となります。特に、介護度の軽い方ほどの傾向が強いことが分かってきました。

ベビーブーム世代が七十歳～八十歳になるころに高齢者人口はピークになると予想されます。少子化で若い世代が減少するため、このまま介護が必要な高齢者が増えることは、社会全体に大きな影響を及ぼすことが心配されています。

## 地域包括支援センターの創設

平成十八年四月の介護保険法改正で「新たなサービス体系の確立」が盛り込まれ、その中で「地域包括支援センターの創設」が位置づけられました。

一月から開設する地域包括支援センターでは町保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士の三人が介護予防や、高齢者に関する相談に応じます。相談については無料です。

地域包括支援センター開設

# 住み慣れた阿久比町で、安心して 生き生きと生活を続けられるように

## 私たちが皆さんを サポートします



社会福祉士です。  
若いころ、青年海外協力隊でソロモン諸島  
に行っていました。昨年の愛知万博ではフレ  
ンドシップ国がソロモン諸島だったこともあ  
り、阿久比町とは奇妙な縁を感じています。  
住民の皆さまからいろいろなお話を伺いた  
いと思っています。よろしくお話しします。

菊地 修一



町保健師です。  
阿久比で生まれ育ちました。高齢者が生き  
生きと過ごしていただけるようにお手伝い  
できればと思っています。  
「阿久比は、ええとこだがね」  
と思ってもらえるように！

鈴村 みえ子



主任介護支援専門員です。  
高齢者や家族の皆さまが、ご自身の持つ力  
を生かして安心して生活できるように、お手  
伝いさせていただきます。  
一期一会の出会いを大切にしたいと思っ  
ています。

若尾 敦子

## 阿久比町地域包括支援センター

〒470-2292 阿久比町大字卯坂字殿越50  
(阿久比町役場内)

受付時間：  
月曜～金曜日(祝日、年末年始を除きます。)  
午前8時30分～午後5時15分

夜間連絡先：  
阿久比町在宅介護支援センター  
☎(47)0639

☎(48)1111(内318) ☎(48)0229  
E-mail: houkatsu@town.agui.lg.jp



## 新春企画

# 新成人に聞きました

一月八日に成人式が行われます。成人式実行委員の皆さんに、二十歳の代表として、成人を迎えて思うこと考えることを聞きました。



成人式実行委員会の皆さん

二十歳になって、  
思うことは。

「親元を離れて生活するようになって、今まで甘えていた部分が多く分かってきました。」

「社会的に自己責任を取らなければならぬ年なのでバカなことができなくなりました。」

「友達と一緒にお酒が飲めるようになりました。」

「特に変わりません。」

「選挙権が与えられたので、選挙には棄権せず絶対に行こうと思えます。」

二十年間で一番うれしかったこと、印象に残ったことは。

「たくさんの人に出会い、友達という一生の財産ができたこと。」

「二十年の節目で成人式実行委員になったこと。」

「運転免許が取れて、車に乗れるようになったこと。」

「中学校の時に阿久比町に引っ越してきたこと。」

皆さんの将来の夢は。

「自分を育ててくれた親のように、仕事を一生懸命やり、子どもができれば休みの日に遊んであげられるような大人になりたい。」

「英語を勉強して世界を飛び回る仕事に就きたい。」

「海外でボランティア活動をして、開発途上国の手助けをしたい。」

「IT関係の仕事をして、自分で企業を起こしたい。」

「子どもの心を忘れない大人になりたい。」

「高齢者のために働く仕事をして頑張りたい。」

「自分にしかできないことは何かを考え、患者から信頼される看護師になりたい。」

「毎日何かに感動できるような変化に富んだ生活を送りたい。」

「司法試験に合格して法律にかかわる仕事に就き、困っている人たちに助けてあげたい。」

「結婚したら温かい家庭を築きたい。」



式典の準備を進めるメンバー

# 新成人に聞きました



成人式実行委員長の竹内通浩さん

成人式実行委員長竹内通浩さんに成人式開催に向けての意気込みを聞きました。

どんな成人式にしたいですか。

「中学を卒業してから一度も会っていない仲間と会えるのが楽しみです。一生の思い出になるように記憶に残る成人式にしたいと思います。」

参加者が満足できるように当日は実行委員全員で力を合わせてがんばります。」

最近の社会について思うことは。

「私たちは年金がもらえられないの心配です。」

「いい社会だと思います。」

「悪質な犯罪が多すぎると思っています。」

阿久比町に望むことは。

「ホテルが減らないように、しっかりと環境問題に取り組んでもらいたい。」

「花火大会など大きなイベントを毎年開催してもらいたい。」

「大きな町民体育館がほしい。」

「医療や福祉施設を充実してもらいたい。」

## 成人式に向けて準備を進める

二十歳になった若者たちが成人式を自分たちで盛り上げようと、十一月から実行委員会を立ち上げました。実行委員のメンバー十五人は、式典の打ち合わせや、自分たちの歩んできた二十年間を映像で振り返るスライドの作成など、学校や仕事の終わった後に町立中央公民館に集まって準備を進めています。

作業に打ち込む若者の真剣な姿は、式を成功させようとする強い熱気が伝わってきました。

### 社会ニュース

フィリピンでコラソン・アキノ女史大統領に就任 (2月15日)

男女雇用機会均等法が施行 (4月1日)

チェルノブイリ原発事故発生 (4月28日)

イギリスのチャールズ皇太子とダイアナ妃が来日 (5月8日)

名古屋市東山動物園で全国初のコアラの赤ちゃん誕生 (10月4日)

伊豆大島三原山大噴火 (11月15日)

### スポーツ

プロ野球  
広島カープ衣笠祥雄選手、対阪神戦で2,000試合連続出場を達成 (6月7日)

ロッテの落合博満選手が中日へ移籍 (12月13日)

マラソン  
北京マラソンで、児玉泰介選手が2時間7分35秒の日本最高記録を出して優勝 (10月19日)

ボクシング  
マイク・タイソン、史上最年少20歳で世界ヘビー級王者に (11月22日)

### 世相

「朝シャン」 「ボディコン」  
「ファミコン」 「ハイレグ水着」  
「炭焼きコーヒー」が流行

### 流行語

「家庭内離婚」「プツン」  
「やるっきゃない」  
「亭主元気で留守がいい」

### ヒット曲

『雪国』(吉幾三) 『DESIRE』(中森明菜) 『時の流れに身をまかせ』(テレサ・テン) 『CHA-CHA-CHA』(石井明美) 『仮面舞踏会』(少年隊)

### 話題の本

『化身』(渡辺淳一) 『運命を読む六星占術入門』(細木数子) 『塀の中の懲りない面々』(安部譲二) 『新・国富論』(大前研一)

### 阿久比町の20年前

3月 英比音橋(メロディー橋)完成  
9月 三笠宮寛仁親王殿下来町  
世帯数6,329 人口23,632人  
(昭和62年1月1日現在)  
平成18年1月1日現在では、世帯数7,981 人口24,817人

今年の成人式対象者は、一九八六年四月二日から一九八七年四月一日までに生まれた方です。二十年前はどんな年だったでしょうか。

## 20年前を振り返る

# オアシススケッチ

## ～まちの話題～

### 東部小5年生もちつきを体験



交代でもちつきを体験する児童たち

12月7日、東部小学校で「もちつき感謝パーティー」が開かれ、5年生の児童52人がもちつきを体験しました。

5年生の児童は総合的な学習の一環で米作りに取り組んできました。この日は地域の人や保護者の協力もあり、児童たちは収穫したもち米で15臼のもちをつきました。

ついたもちは、「あんこもち」や「きな粉もち」などにして給食の時間に全校児童で食べ、楽しいパーティーとなりました。

### 電照菊の栽培技術を審査



電照菊をチェックする審査員

電照菊を栽培する農家で作る阿久比花き組合の主催で「電照菊ほ場共進会」が12月8日に行われました。

愛知県知多農林水産事務所農業改良普及課やあいち知多農協などの職員9人が町内18カ所のほ場を回り、草丈や花の付き具合など育成状況を審査しました。

主な受賞者は次のとおりです。(敬称略)

愛知県知事賞 田中快計 阿久比町長賞 澤田武彦  
阿久比町議会議長賞 竹内誠敏  
阿久比町農業委員長賞 竹内常仁

### 交通安全に気を付け、楽しい正月を



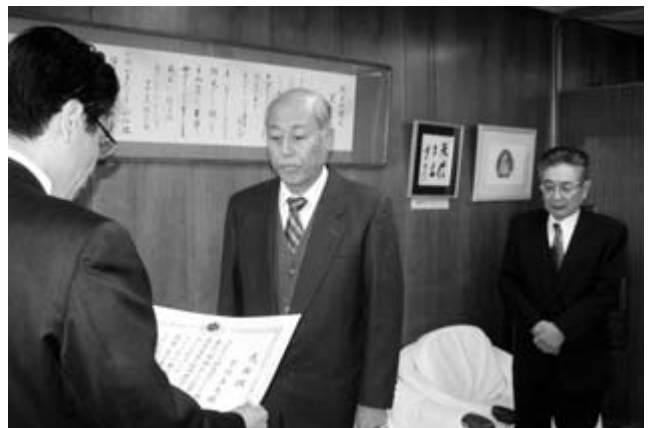
半田警察署員の交通安全講話を聞く高齢者

卯之山老人憩の家で卯之山地区と坂部地区の高齢者を対象に交通安全教室が12月12日開かれ、約60人の参加者がありました。

教室では交通安全映画の上映や半田警察署員、交通安全普及所職員による講話などが行われました。

警察署員は「11月に阿久比町内で2件の交通死亡事故が発生しました。交通安全に気を付け楽しい正月を迎えましょう」と注意を呼び掛けていました。

### 早川さんと田中さんに法務大臣から感謝状



町長から感謝状の伝達を受ける二人(手前が早川さん、後ろが田中さん)

保護司として尽力された早川善久さん(阿久比)と田中祥喬さん(椋岡)が法務大臣から感謝状を受け、その伝達式が12月8日役場町長室で行われました。

早川さんは21年間、田中さんは14年間保護司を務めてきました。感謝状を手にして「大変な仕事でしたが今ではいい思い出です。」「子どもたちと接することで勉強になることがたくさんありました」と二人が話していました。





保育園体験研修を行う小学校教諭

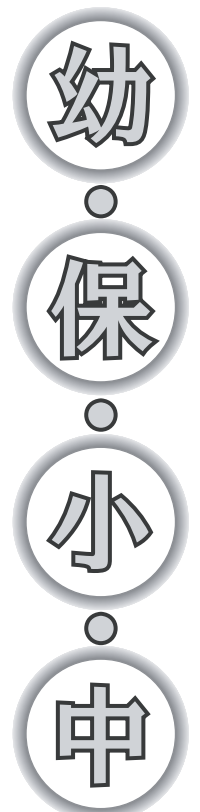
- ・ 基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・ 自分から進んでできる子ども
- ・ 進んであいさつや返事をする。
- ・ 食事のマナーを身に付け、好き嫌いをしないで食べる。
- ・ 早寝早起きの習慣を身に付ける。
- ・ 手洗い・うがい・歯みがきの習慣を身に付ける。
- ・ 自分で衣服の着脱をし、必要に応じて調節する。
- ・ 遊びに使ったものを片付け、自分の持ち物を整理する。
- ・ いろいろなものに興味や関心をもち、友達と意欲的に遊ぶ子ども
- ・ 友達とルールを守りさまざまに遊びをする。
- ・ 自然や身近な事物・事象に関する。

### 一、目指す六歳児像

今回から、五つの部会から報告された内容を掲載していきます。今回は幼児教育研究部会です。

方向性

# 一貫教育プロジェクト



阿久比町八保育園・幼稚園年中長児の保護者と全保育園保育士・幼稚園教諭を対象に行った実態調査（平成十八年二月実施）から次のように設定しました。



幼・保・小・中作品展（阿久比中学校体育館）

### 二、追求する課題

実態調査や分析から、課題を次の四つに絞り込み、調査・研究・試行

- ・ 心をもち、生活や遊びに取り入れたり工夫したりする。
- ・ 人の気持ちに分かり、自分の思いを言葉で伝えられる子ども
- ・ 人の話を注意して聞き、自分の考えや気持ちを相手に分かるように話す。
- ・ 「絵本」や「お話」を楽しむ。
- ・ 人や自然とのふれあいの中で、命の大切さが分かる子ども
- ・ 身近な動植物を大切にしたり世話をしたりする。
- ・ 危険なことが分かり、約束を守って安全な生活をする。

### 三、課題解決に向けた提案・提言

一歳から五歳までの各年齢ごとの目指す姿  
小学校と保育園・幼稚園との連携の在り方  
保育園、幼稚園の連携の在り方  
保護者への啓発と連携の在り方  
次の方の提案・提言がされました。

- ・ 目指す六歳児像に向けた保護者・園の働きかけや指導の充実を図るため、指導マニュアルを各校・園に配布する。また、園児の各家庭には掲示用のものを作成して配布する。
- ・ 入門期カリキュラム・交流カリキュラムを作成し、平成十九年度から各校の実態に合わせて実施する。
- ・ 本年度の試行（十月～十一月）を踏まえ、親子ふれあい読書キャンペーンを実施する。
- ・ 保育士や幼稚園教諭による小学校学習指導補助を行う。また、小中学校・幼稚園教諭の保育園体験研修を行う。
- ・ 幼稚園・保育園の職員交流の充実を図る。

問い合わせ先 学校教育課  
☎（48）1111（内202）

**安全**  
**で**  
**住**  
**み**  
**よ**  
**い**  
 まちづくり  
 ニュース  
 防災交通課  
 (内208)

# 防災への意識改革

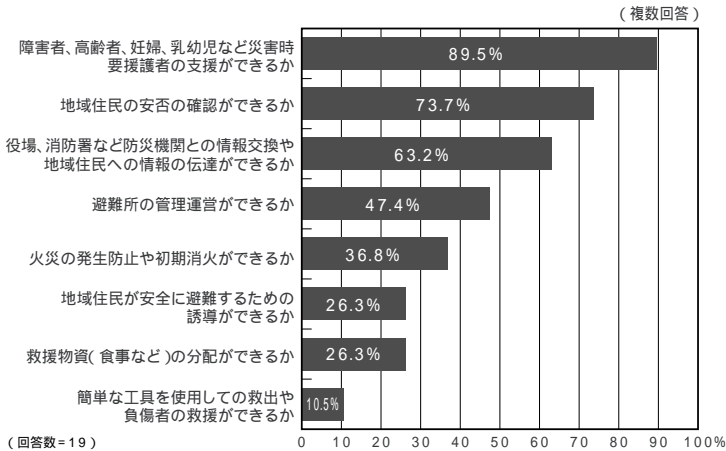
53

**各種団体を対象としたアンケート結果**

阿久比町地域防災ネットワーク活動推進事業の一環として、町内の自主防災会、事業所、ボランティア団体の協力を得て、各団体の防災に関する取組状況や意向などを把握し、今後の連携方法の検討材料として活用することを目的にアンケート調査を実施しました。

	自主防災会	事業所	ボランティア団体
配布数	22団体	50団体	21団体
回収数	19団体	38団体	20団体
回収率	86%	76%	95%
内容	・現状と今後の意向 ・地域や他の団体との連携について		

郵送による配布・回収  
 調査時期 平成18年8月25日～9月15日



調査結果「自主防災会編」前号からの続き  
 自主防災会が抱えている災害発生時に予想される問題点は「災害発生時の問題として、要援護者援護者対策」を挙げている自

自主防災会の防災訓練は、年一回〜二回の頻度で行われ、ほとんど「会場型訓練」が行われています。今後は、「シナリオのない訓練」、「夜間訓練」、「避難所運営訓練」を実施したいとする自主防災会が半数を超え、訓練方法の指導や訓練を通じた住民の意識の高揚、ほかの防災関係団体・事業所などとのネットワークづくりが求められています。

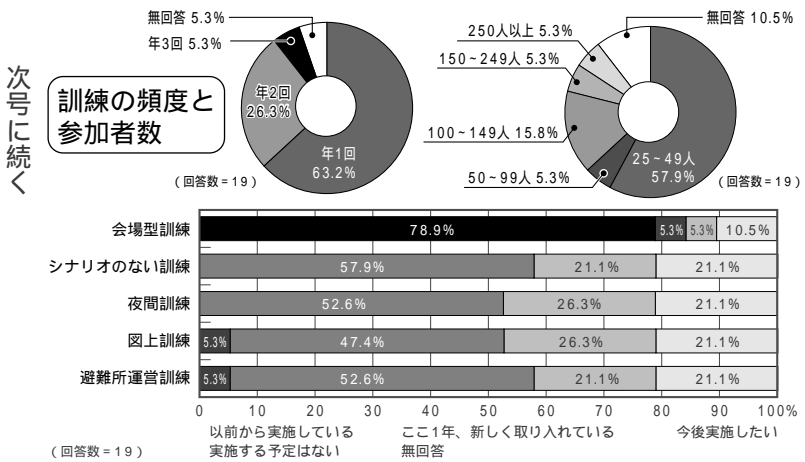
**自主防災会の防災訓練状況は**  
 自主防災会は九割近くの上つています。自主防災組織は平日の昼間時には機能しないといった問題点も挙げられていて、今後は医療・福祉施設やボランティアなどとのネットワークを構築しながら、これらの問題を解決していくことが必要です。

## 防災講演会開催



講演をする安藤教授

12月9日、エスペランス丸山で「阿久比町防災講演会」を開催しました。名古屋大学大学院安藤雅孝教授を講師に迎え、「東海・東南海・南海地震の被害予測と対策」と題して地震防災の講演会と、前号からこのページで掲載している防災アンケート結果の概要報告を阿久比町地域防災ネットワーク活動推進会議岸野靖彦会長が行いました。この事業は阿久比町地域防災ネットワーク活動推進会議の主催で愛知県みんなの防災ネットワーク構築モデル事業の一環として実施しました。



次号に続く



# タバコの吸い過ぎに注意

タバコは『百善あつて一利なし』  
と言われます。皆さんはタバコの害  
について、どのくらい知っています  
か。



## 『タバコ編』

# めざせ!ハッピーライフ あぐい21

## 健康日本21あぐい計画

問い合わせ先 環境衛生課保健係  
☎(48)1111(内311・312)



・ 心臓の病気  
血管が縮むことで血圧が上がり、  
悪玉コレステロールが増えて動脈硬  
化が進みます。狭心症や心筋梗塞な  
どの心臓病が起こりやすくなります。  
・ 歯や口の中のトラブル  
歯周病になりやすく、重症化しや  
すくなります。  
口臭に影響が出たり、歯が汚れた  
り、食べ物の味わいが妨げられたり  
します。

### こんなにあるタバコの害

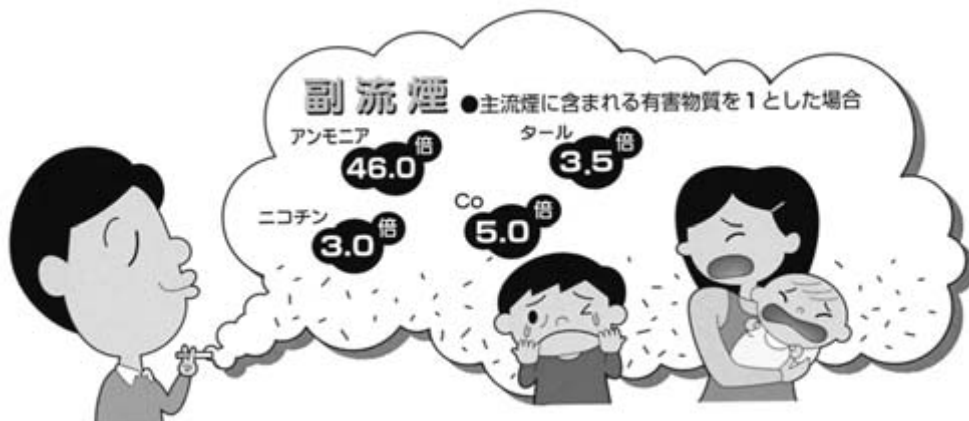
## タバコによる健康被害 をなくす

### みんなで目指す目標

タバコを吸うと肺がんにかかりや  
すくなるだけではなく、全身にさま  
ざまな悪影響を及ぼします。  
タバコが健康に及ぼす影響について  
正しい知識を持ちましょう。

### 分煙を心掛けよう

・ 妊娠に関連した異常  
子宮や胎盤の血管が縮み、低体重  
児の出産や早産、流産などの危険性  
が高くなります。  
タバコの煙は、喫煙者が吸い込む  
主流煙と、火がついている部分から  
立ち上る副流煙に分けられます。



10年後の目標

	現状値	10年後の目標値
タバコを吸っている人の割合	41.7% (男性 壮年期) 38.7% (男性 青年期)	20.0% (男性 壮年期) 20.0% (男性 青年期)
分煙を心がけていない人の割合	13.0% (男性) 1.6% (女性)	0% (男性) 0% (女性)
タバコが歯周病に及ぼす影響を知っている人の割合	14.6% (男性) 20.7% (女性)	50.0% (男性) 50.0% (女性)
タバコが妊娠に関連した異常に及ぼす影響を知っている人の割合	40.9% (男性) 75.4% (女性)	70.0% (男性) 90.0% (女性)

## みんなで達成しよう

主流煙よりも副流煙の方が、有害  
物質を多く含んでいます。タバコは  
吸っている人だけでなく、周囲の人  
の健康にも影響を与えます。ぜひ分  
煙を心掛けましょう。

現状値は「健康日本21あぐい計画アンケート」による。

# 風は海を越えて

信平はベランダに出た。眼下に広がる海は空の青とひとつになって、青くきらめいていた。

待っていたヨシキからの年賀状は来なかった。でも信平は、海を越えてくる風が、きつとヨシキの声を伝えてくれる、そんな気がしていた。

ヨシキが両親とブラジルに帰ったことを、信平が知ったのは、冬休みに入ってから2、3日過ぎた日だった。

なぜ、とつぜん帰ってしまったのか信平にはわからなかったが、ただ、(だまって行くなんて、あの時、死ぬまで友達だとして約束したのに)と



無茶苦茶に腹が立った。

あの時、それは去年の夏のことだった。信平やヨシキたち五年生は、3泊4日の山の学習に出かけた。

その2日目のことだった。夕食が終わり、キャンプファイヤーまでは自由時間だった。

「裏山に上ろう」

信平はヨシキをさそった。キャンプ場の裏山には、20mほどの高さの、3本の細い滝が落ちていた。滝の下や川で遊ぶことはよかったが、裏山に上ることはかたく止められていた。

だからヨシキは反対した。でも信平はむりやりに承知させ、先生や友達に見つからないように、キャンプ場をぬけ出すと山に上った。

滝の上は、信平が想像していたより大きな川ではなかった。岩を足場にして越せる浅い谷川だった。

「よし、それなら探検だ」

信平はいやがるヨシキを引っ張って、杉林に入ってしまった。

事が起きたのは、杉林から山道に出た時だった。

「お、ヤマユリだ」

草むらに花を見つけた信平がかけ寄ろうとした。ところが木の根にまずいてひっくり返った。

前は谷だった。でもクマザサにおわれていてわからなかった。

「信ちゃん」

信平を起こそうとしたヨシキまで、いっしょに谷にずり落ちた。

周りは雑草でおおわれ、ほり井戸のような谷底だった。幸いに命は助かったが信平はうでを折り、ヨシキは足をくじいて、谷をよじ上ることはできなかった。

「助けてくれ！」

「谷底へおつこちたあ！」

ふたりはけんめいにさげんだ。でも、助けは来なかった。

山の日暮れは早い。日が沈むと夏

でも寒い。わずかに月明かりのさす暗い谷底で、ふたりは寒さと痛みと、きょうふでふるえた。

「このままじゃ死んじゃう」

弱音をはき出したのは信平だった。

そんな信平を、ヨシキは、「がんばるな、きつと助かるよ」とはげまし、助けを呼び続けた。

先生や村人に救い出されたのは、3、4時間も過ぎたころだった。

あの時、ヨシキがいなかったら・・・と、ヨシキをばかにし、いじめもしてきた信平だったが、どれほどこうかいし、心の中でわびたことだったろうか。

風がベランダを吹き過ぎて行った。正月とは思えない暖かい風だった。

ブラジルは遠い国だ。その国のどこにヨシキがいるのか、信平は知らない。

でも、海もブラジルに続いている。空もひとつだ。風も海を越えて行く。

「ヨシキ、新年おめでとつ。ことしも元気でな」

信平は、風がきつとヨシキに声を届けてくれる。そして、いつか必ず会える。そう信じ、遠い水平線を見つめた。

寺沢 正美

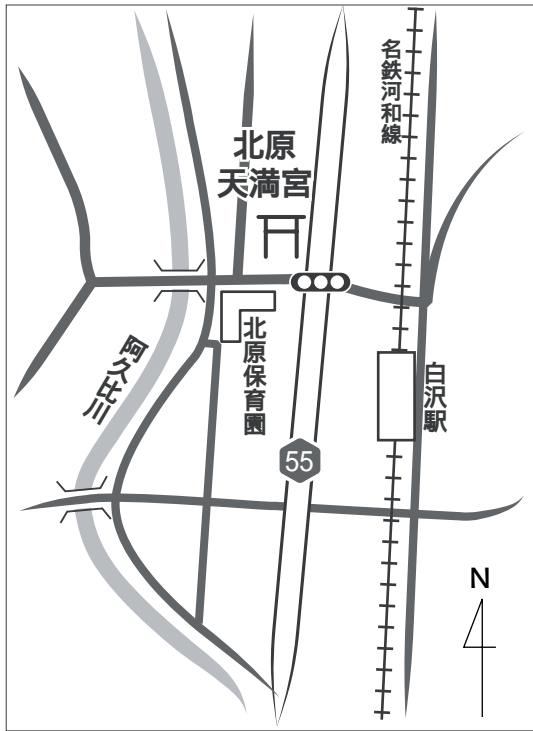
阿久比創作童話の会

「しるやま」講師



# シリーズ

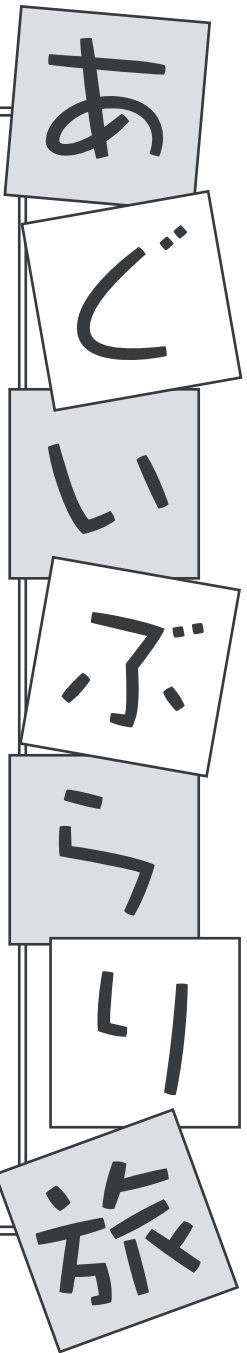
## 阿久比を歩く ④3



白沢地区の田園

「英比磨が初めて荘内を巡視したとき、入江に大河が注ぐ河口付近は、広い沢地になっていました。そこには、丈の高い片葉の葦が一面に生い繁り、かれの来訪を歓迎するかのよう、数百羽の白鷺が群れ遊んでおりました。かれは、その美しい景色に見とれて、長い間たずんでいました。この地を『白沢』と名づけよう、ここを開拓したら、きつとすばらしい美田となるに違いないと考え

### 伝説の地を歩く(英比磨伝説)



ました。(阿久比の昔話)『英比磨物語』から。  
阿久比の郷を開いたといわれる英比磨。その英比磨が訪れたとされる伝説の地をぶらり旅に出掛けた。  
英比磨の住居地跡だったとされる場所、北原天満宮に立ち寄り、西の方へと進む。阿久比川を挟み、田んぼが広がる。  
友人が田んぼを見て「美しい田園が広がっていますね。英比磨さんのおかげですね。あと白鷺が出迎えてくれれば最高ですよ。田んぼに水がたまっているのは、沢地の名残りですかねえ」としみじみと話すので、私は「きのう、雨降ったよな」と軽いツッコミを入れて話を流す。  
物語に登場する「片葉の葦」を探す。書物などで調べると、葦は「沼や川岸にはえる多年草」。片葉の葦は「茎の一方にだけ葉があるという葦の不思議を伝え、その由来を説く伝説が各地で、七不思議の一つと数えられている」とある。  
散歩をする人たちに声を掛けるが

誰も知らないと言う。インターネットで調べた写真が手掛かり。半ばあきらめかけ、北原保育園の西を流れる阿久比川の堤をのぞく。その瞬間「あれだ」と二人で大きな声を上げる。写真と見比べ「間違いありませんよ」。「きつとそうだ。よね?」。  
一面に生い繁るとまでいかなかったが、川の堤の一角に群生している。確かに片葉だ。伝説の地に生えるといわれる片葉の葦が残るのは、やはり何かの因縁だろうか。英比磨が訪れる前に、何かこの地であったのかもしれないと、勝手に想像を膨らませてしまふ。  
友人が「ピタゴラスが確か人間は考える葦」と言っていましたよ。それってどうゆう意味ですかね」と尋ねてくるので、意味は知らないけど、ピタゴラスじゃなくてパスカルだったような気がするけどな...と二人で首をかしげながら帰り道を急いだ。  
次号も英比磨伝説を探しに出掛けます。



片面にしか葉が付かない「片葉の葦」

# 税金の話

## 税源移譲で

# 平成19年から 住民税が変わります

問い合わせ先  
税務課住民税係  
☎(48)111  
(内220)

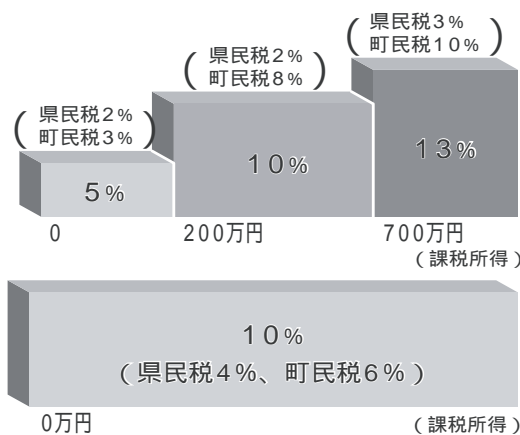
国は、地方にできることは地方に」という方針のもと、「国庫補助負担金を減らす」「税源を地方に移譲する」「地方交付税を見直す」ことを柱に三位一体改革を進めてきました。その一環として平成19年から、国の所得税から地方の住民税へ三兆円の税源移譲が行われます。

### Q どう変わるの？

A

住民税所得割の税率が一〇%（町民税六%、県民税四%）に統一されます。住民税所得割は現在、三段階の税率になっています。これからは所得の多い少ないにかかわらず一律一〇%に変わります。

平成十九年六月納付分から適用されます。



Q

### 税負担は どうなるの？

A

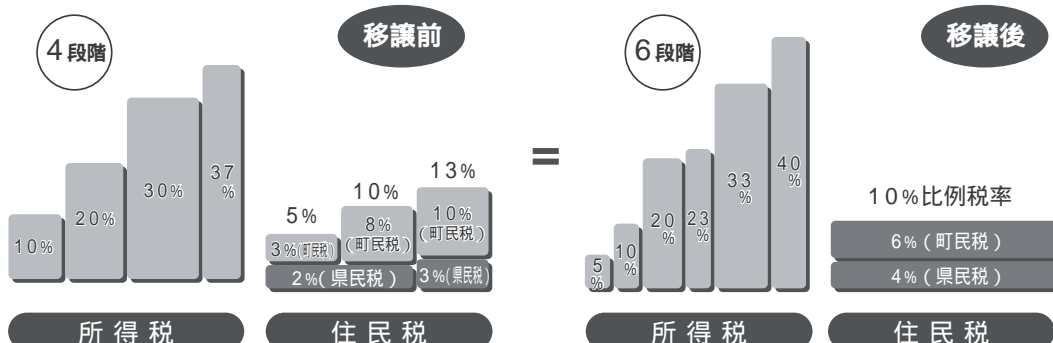
税源移譲によって住民税が増えても所得税が減るため、納税者の負担は基本的に変わりません。ほとんどの方は、一月分から所得税額が減り、六月からの住民税額が増えることになります。しかし、税源の移し替えなので、「住民税+所得税」の納税者の負担額は基本的に変わりません。

住民税所得割が一〇%に統一されるのに伴い、国が集める所得税の税率も見直されます。住民税については最低税率を五%から一〇%に引き上げ、最高税率は一三%から一〇%に引き下げとなっていますが、所得税は最低税率を一〇%から五%に引き下げ、最高税率は三七%から四〇%に引き上げとなります。

人的控除（配偶者、扶養、基礎控除など）による減額措置もとられます。所得控除額が、住民税より所得税の方が多いため、税率の改正で住民税、所得税の負担が増えないように調整されます。

住宅借入金等特別控除の適用  
税源移譲に伴い、平成二十年度の住民税から、住宅借入金等特別控除

個々の納税者の負担合計額は同じ



の適用を受けている方で、所得税率の変更により、所得税額から特別控除額を差し引いた後、控除残額が生ずる場合は、本人の申告により住民税から控除残額に相当する金額を減額し、住民税、所得税の負担が増えないように調整されます。



# 阿久比町次世代育成支援行動計画の 進展状況を公表します

安心して子どもを産み、子育てしやすい環境をつくるために、平成15年7月に「次世代育成支援対策推進法」が成立し、社会が一丸となって、次世代の子どもの育成を支援していく施策を進めています。

町でも、平成17年3月に「阿久比町次世代育成支援行動計画」を策定し、一人でも多くの住民が子育てに伴う喜びが実感できるよう支援するための取り組みを行っています。

## 基本理念

阿久比町に住む全ての子どもが次代の担い手として、心身ともに健康で安心と自信を持って暮らし、子どもが輝きながら生きる力を育むとともに、全ての家庭が安心して子どもを育てることができるような環境づくりを目指します。

## 子どもが健康で輝きながら育つまち 阿久比

### 施策の基本的な方向性

- ・ 地域における子育ての支援
- ・ 子どもの心身の健やかな成長に役立つ教育環境の整備
- ・ 職業生活と家庭生活との両立の推進
- ・ 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進
- ・ 母性、乳幼児などの健康の確保と増進
- ・ 子育てを支援する生活環境の整備
- ・ 子どもなどの安全確保

### 計画の期間

- ・ 平成17年度から平成21年度までの5年間(平成17年度から平成26年度までの10年間の計画期間のうち前期計画)

### 主な施策の目標値と進展状況

主な施策の目標値と進展状況を住民福祉課の窓口と阿久比町ホームページで公表します。

ホームページアドレス <http://www.town.agui.lg.jp/ka/jumin/zisedai.pdf>

問い合わせ先 住民福祉課 ☎(48)1111(内301)

### 人口の推移(国税調査)

昭和15年	8,591人
昭和22年	11,049人
昭和30年	12,586人
昭和40年	13,775人
昭和45年	18,499人
昭和50年	20,867人
昭和55年	20,880人
昭和60年	23,341人
平成17年	24,577人



建物が建ち始める阿久比宮津特定土地区画整理地内

平成十八年十一月一日、町の人口が二万五千人になりました。そこで今回は阿久比町の人口がどのように移り変わってきたかを紹介します。阿久比の人口の変化には大きく三つの節目がみられます。

## 人口のはなし

子どもに伝えたい

あぐいのむかし

8

昭和十五年(二十二年)

空襲の多い都会から、食糧の豊富な田舎へ疎開してきた人々や戦後の復員、引き揚げにより増加しました。

昭和四十年代

阿久比団地、日生白沢団地、富士製鉄団地(現在の宮津団地)、宮津山田など大規模な住宅団地の出現により増加しました。

昭和四十五年には知多半島道路の開通に伴い、阿久比インターチェンジが営業を開始。これにより名古屋市が大変近くなり、阿久比を住宅地として選ぶ人々が増加しました。

昭和五十六年

町北東部に広がる高根台(名鉄東ヶ丘団地)への入居が始まり、毎年三百人から五百人の増加がありました。

最近では草木地区をはじめとした区画整理事業により人口が増加してきました。

名古屋から近く、通勤通学に便利なまち、緑豊かな自然の残るまち阿久比は、これからも人口が増え続けることでしょう。

# お知らせ



上村 伸一さん



榎本 勇さん

## 新しい保護司に 上村 伸一さんと榎本 勇さん

新しく保護司に上村伸一さん（宮津団地）と榎本勇さん（植）が法務大臣から委嘱されました。

保護司は地域の実情に通じているという特性を生かし、保護観察官と協力をして更生保護の仕事に従事します。

早川善久さん（阿久比）と田中祥喬さん（椋岡）は任期満了をもって退任されました。

### 学校給食用物資の 納入業者を募集

平成十九年度阿久比町学校給食用  
購入物資納入業者の指定申請を受け  
付けます。

希望の方は学校給食センターまで  
申請書を提出してください。

受付期間

一月四日（木）～三十一日（水）

申請書は学校給食センターにあ  
ります。

申請・問い合わせ先  
学校給食センター

☎（48）5111

### 「あぐい女性の会」 講演会を開催します

食育をテーマに、講演会などを開  
催します。

日時 一月二十日（土）

午後一時半～午後三時半

会場 中央公民館本館

三階三〇一号室

参加費 無料

内容 講演  
演題 「食べる力は、生きる力  
ー今、なぜ食育かー」

講師 浜松大学教授 堀江和代氏

女性の会構成団体による発表

### 所得税還付無料説明会を 開催します

問い合わせ先 社会教育課  
☎（48）1111（内262）  
託児を希望される方は、一月十  
七日（水）までに社会教育課へ。

税理士による所得税還付申告無料  
説明会を開催します。

日時 二月十日（土）

午前九時～午後零時半

（受け付けは正午まで）

場所 半田市役所、東海市役所、  
大府市役所、知多市役所、常滑市  
鬼崎公民館

内容 年金収入のある方、医療  
費控除を受ける方、平成十八年中  
に住宅を新・増築をした方の所得  
税還付申告の説明。

問い合わせ先 税務課住民税係  
☎（48）1111（内302）

### 認知症サポーター養成 講座を開催します

この講座は、認知症について正し  
い知識を持ち、地域で暮らす認知症  
の方とその家族の良き理解者となる  
「認知症サポーター」を育てること  
を目的としています。

日時 一月十三日（土）

午後一時半～午後四時

会場 半田市福祉文化会館  
（雁宿ホール一階）

・講座

『認知症サポーター養成』  
講師 医療法人共和会共和病院診  
療部老年科部長 河野和彦氏  
・シンポジウム  
座長 医療法人共和会共和病院  
院長 榎本和氏

『認知症の家族を抱える現状』  
社団法人 認知症の人と家族の会  
（旧 呆け老人をかかえる家族の会）  
全国本部理事

愛知県支部代表 尾之内直美氏  
『認知症キャラバン・メイト活動の  
現状』

美浜町保健センター  
保健師 大松節子氏

対象者  
一般住民、住民組織、ボランティア  
団体、保健・医療・福祉関係者な  
ど三百五十人

参加費 無料

終了後、受講者に認知症サポー  
ターの証となる「オレンジリング」  
を交付します。

主催 半田保健所

共催 知多半島地域こころの健  
康づくり連絡協議会

後援 半田市・阿久比町・東浦  
町・南知多町・美浜町・武豊町・  
半田市医師会・知多郡医師会・半  
田歯科医師会・知多郡歯科医師  
会・知多薬剤師会・美浜南知多薬  
剤師会

申し込み・問い合わせ先  
半田保健所総務企画グループ  
☎（21）3341

## 放送大学4月入学生を募集します

放送大学は、放送メディアで授業を行う通信制大学です。生涯学習として、働きながら幅広い年代の方が学んでいます。希望する一科目から自宅で学べます。入学試験はありません。

### 募集学生の種類

- 教養学部
  - 全科履修生（卒業を目指す）
  - 選科履修生（一年間在学）
  - 科目履修生（六カ月在学）
- 大学院
  - 修士選科生（一年間在学）
  - 修士科目生（六カ月在学）

受付期間 二月二十八日(水)まで  
資料請求・問い合わせ先  
放送大学愛知学習センター  
☎052(831)1771  
ホームページからの資料請求先  
<http://www.u-air.ac.jp/>

## 二一ト問題と支援を考える講座を開催します

二一トに関する理解、知識、見識を深めるため、次のとおり開催します。

日時 二月六日(火)  
午後一時～午後四時  
場所 半田市福祉文化会館(雁宿ホール第三会議室)  
対象 二一ト支援に関心のある方  
講師 特定非営利活動法人

ICDS理事長 深谷潤一氏  
受講料 無料  
定員 五十人

申込期限 一月三十一日(水)電話 FAX、メールで申し込んでください。

申し込み・問い合わせ先  
半田市役所商工観光課

☎(21)3111  
FAX(25)3255  
Eメール syoukou@city.handa.lg.jp

## 平成19年度県立刈谷東高等学校通信制課程の生徒募集

新入学、転編入学、特科(聴講生)の生徒を募集します。

募集人員 普通科約二百八十人  
応募資格

- ・ 中学校を卒業した方。今春中学校を卒業見込みの方または中学校卒業と同等以上の学力があると認められる方など。
- ・ 転編入学は高等学校で一部単位を修得した方。

選抜日  
新入学の前期選抜は三月十一日  
後期選抜は四月一日

転編入学は三月二十五日  
選抜方法

- ・ 新入学は書類審査、作文、面接
- ・ 転編入学は書類審査、学力検査、面接

特科は書類審査  
問い合わせ先 刈谷東高等学校  
☎0566(21)3349

## 年始のごみ収集

地 区		収集開始日
横松・萩・宮津・宮津団地・宮津山田・坂部・卯之山・阿久比・椋岡・矢口・高岡・植・大古根	収集開始日	1月5日(金)
福住・福住園高台・阿久比団地・板山・高根台・メイツ巽ヶ丘・白沢・白沢台・草木	収集開始日	1月4日(木)

年始の燃えるごみ収集開始日を上の表で確認してください。

- ・ 一月の資源ごみ・燃えないごみの収集は、通常の収集月と異なる地区がありますので、「阿久比町分別収集カレンダー」を確認して収集日以外にはごみを絶対に出さないでください。

家庭系・事業系ごみの東部知多クリーンセンターへの搬入

搬入開始日 一月四日(木)

## 年始のし尿くみ取り

年始のし尿くみ取り業務は、一月四日(木)からです。

- ・ 申し込みは、町指定のし尿くみ取り券取扱所へお願いします。

## 公共施設の休み案内

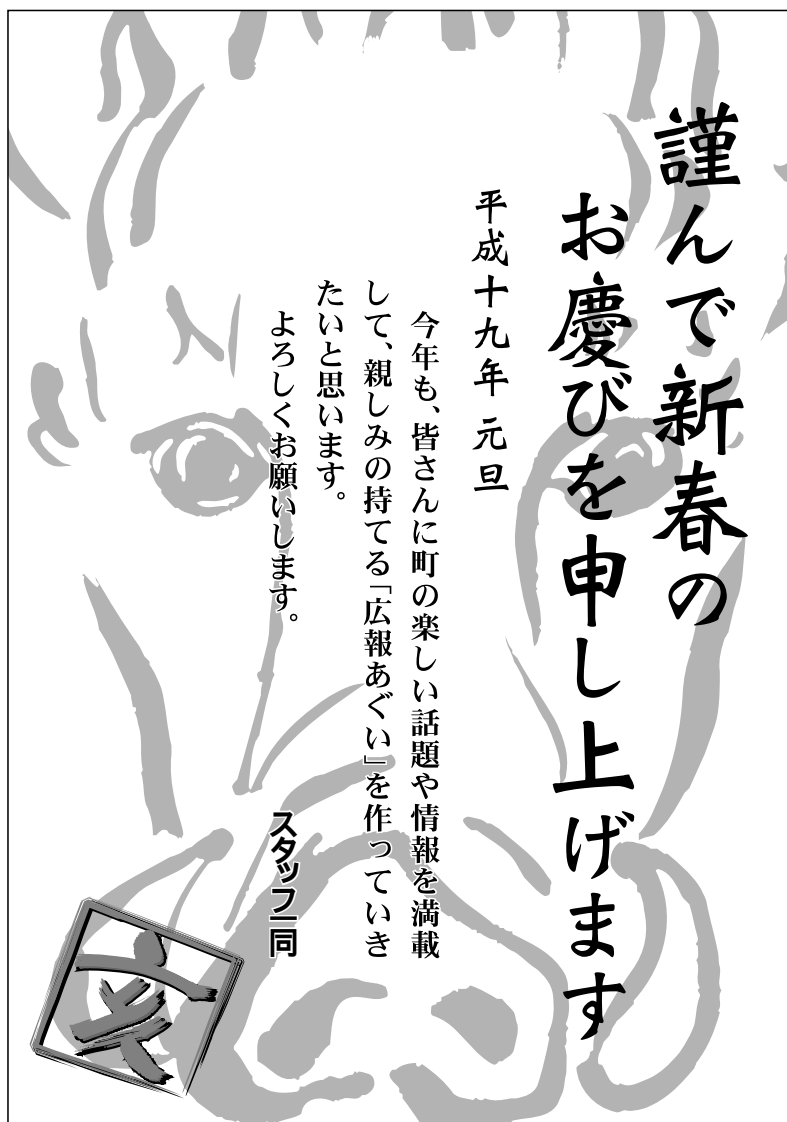
施設名	1 月				
	1日 (月)	2日 (火)	3日 (水)	4日 (木)	5日 (金)
阿久比町役場 ☎48-1111	1				
保健センター ☎48-1111					
中央公民館 ☎48-1111					
町立図書館 ☎48-6231					
勤労福祉センター ☎48-6644					
ふれあいの森 ☎48-8431					
阿久比スポーツ村 ☎49-2500					
草木グラウンド ☎49-2500					
白沢グラウンド ☎49-2500					
板山グラウンド ☎49-2500					
丸山武道場 ☎48-6644					
半田斎場 ☎27-8700					

1の期間中、死亡届・出生届など戸籍の届出、火葬の利用手続きは、役場宿直室で受け付けます。

## お詫びと訂正

十二月十五日号の公共施設の休み案内で、草木グラウンド、白沢グラウンド、板山グラウンドの十二月二十八日と一月四日が平常業務になっていました。休みの誤りでしたのでお詫びして訂正します。





**謹んで新春の  
お慶びを申し上げます**

平成十九年元旦

今年も、皆さんに町の楽しい話題や情報を満載  
 して、親しみの持てる「広報あぐい」を作ってい  
 たいと思います。

よろしく願います。

スタッフ一同

阿久比町  
マスコットキャラクター  
アグビー

## 阿久比町民憲章

わたしたち阿久比町民は、ここに町民憲章を定め、よりよい町づくりに努めることを誓います。  
 ホタル飛びかう、豊かな自然を守ります。  
 歴史と伝統を守り、教養を高めます。  
 スポーツに親しみ、健康で明るい家庭をつくり  
 ます。  
 オアシス運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつ  
 くります。  
 ボランティア活動に、すすんで参加します。

## 人口と世帯

世帯数	8,200 ( 0 )	11月中の異動
人口	24,993人( 7 )	出生 14 転入 83
男	12,399人( 1 )	死亡 18 転出 86
女	12,594人( 6 )	

( )は前月との増減数 平成18年12月1日現在

